

ワクチンの供給について

- 国において、必要なワクチン量が総量としては確保されているが、自治体に対し8月以降のワクチンの供給量等が示されていない状況。
- そのため、自治体で今後の接種計画の見込みが立てられず、接種の遅れにつながることも懸念されることから、国に対し、ワクチンの種類や量、供給時期を速やかに示すよう求めていく。
- また、VRS入力率や在庫量等によるワクチン配分の考え方についても、国の動向を注視し対応していく必要。

■ ワクチン供給（ファイザー社）

期間	全国供給量	府供給量	府希望量	府供給量/府希望量
～5月17日の週まで	31,441箱	1,945箱	—	—
5月24日の週及び31日の週	16,000箱	1,206箱	1,381箱	87.3%
6月7日の週及び14日の週	13,500箱	976箱	1,258箱	77.6%
6月21日の週及び28日の週	16,000箱	1,097箱	1,381箱	79.4%
7月5日の週及び12日の週	11,000箱	724箱	1,309箱	55.3%
累計	87,941箱 (約1億102万回分)	5,948箱 約686万回分	—	—
(今後の予定)				
7月19日の週及び26日の週	8,000箱+@ (10,000箱程度)	528箱+@'	—	—

■ 国において契約締結済みのワクチン

参考：令和3年5月21日開催 第21回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 資料

ワクチン	契約内容 ()内は契約締結日	供給計
ファイザー社	・年内に約1億4,400万回分の供給 (R3.1.20) ・第3四半期に5,000万回分の供給 (R3.5.14)	約1億9,400万回分
武田薬品工業/ モデルナ社	・今年上半期に4,000万回分、第3四半期に1,000万回分の供給 (R2.10.29)	5,000万回分

(※上記に加え、アストラゼネカ社のワクチンについても契約締結済み)

計 約2億4,400万回分